

ブックリスト

平和を子どもたちと考える

戦争を語り描いた絵本 87冊

野村邦重/編集(2022.03.06)
(2022.08.19)
(2022.09.13)

書名(五十音順で掲載)	表紙画像	著作者・訳者/出版社・出版年	※1	※2	すいせんコメント
1 あいうえおのき ちからをあわせたまじたちのはなし		レオ・レオニ/作 谷川 俊太郎/訳 好学社 1979	1		文字たちが最後に作る文章は「地球に平和を すべての人々に優しさを 戦争はもうまっぴら」
2 あいたかったよ		エルズビエタ/作 こやま 峰子/訳 朔北社 2000			野 フロンフロンは、小川の向こう側に暮らすミュゼットと、とても仲よし。ある日戦争が始まり、小川の方には、イバラの垣根が張られてしまった。もうミュゼットに会うことができない。
3 秋		かこ さとし/文・絵 講談社 2021	1		太平洋戦争の時、高校生だった作者が体験した実話。戦争の悲惨さに怒り震える作者が、いつまでも忘れないようにと子どもたちに伝える。平和を願う作者の強い思いが込められている。
4 あるひあるとき		あまん きみこ/文 ささめや ゆき/絵 佐藤 仁史/解説監修 のら書店 2020	2		あまんきみこが初めて語る子ども目線の戦争の話。第二次世界大戦中、旧満州の大連に住んでいた「わたし」には、大切な友だちがいました。こけしのハッコちゃんです。でも・・・
5 いのりの石 ヒロシマ・平和へのいのり		こやま 峰子/文 塚本 やすし/絵 フレーベル館 2015	1		8月6日、広島に原爆が投下される以前の様子から、その後被爆した石が「祈りの石」となったのはどうしてなのか。私たちが知るべき物語。
6 ウミガメと少年 野坂昭如戦争童話集 沖縄編		野坂 昭如/作 男鹿 和雄/絵 早川 敦子/英訳 スタジオジブリ 2008 徳間書店/取り扱い	1		沖縄での戦争の様子を、戦争など何も知らないウミガメ、家族からも村からもはぐれてしまった少年の二つの視点から描く。死体を見慣れ、助けてあげようと思ったタマゴさえ食べてしまう。戦争はこんなに人の感覚をおかしくさせる。 (講談社 2001 黒田征太郎/絵 現在注文不可)
7 おかあさんのいのり		武鹿 悦子/作 江頭 路子/絵 岩崎書店 2015		2	わたしのあかちゃん、その手がどうか銃などにぎりませんように。世界中のこどもたちから平和をうばわないで…。母の子への愛情は万国共通。戦後70年、平和への願いをこめておくる絵本。
8 おひさまとおつきさまのけんか		せなけいこ/作・絵 ポプラ社 2003		1	遅刻したお月様に、お日様は怒鳴った。あんまり怒られたのでお月様は謝り損ねてしまいます。するとどンドン仲が悪くなり、大変な事に！子どもたちにもいろいろ考えさせる事が出来る絵本。
9 オットー 戦火をくぐったティディベア		トミー・ウンゲラー/作 鏡 哲生/訳 評論社 2004	1		日本だけでなく他の国の子どもたちが、戦時中どのように生きていたかを、学ぶことができる。戦争の悲惨さと友情の大切さを感じることができる。
10 おとうさんのちず		ユリ・シュルヴィッツ/作 さくま ゆみこ/訳 あすなろ書房 2009		2	戦争の戦禍から逃れて暮らす、貧しく食料も乏しい親子3人の話。戦争の悲惨さを伝えるだけでなく、「一枚の地図」によって、広い世界を知り、生きる希望や活力の大切さが伝わってくる。
11 かさをささないシランさん 品切れ		谷川俊太郎/作 アムネステイ・インターナショナル/作 いせ ひでこ/絵 理論社 1991	1	野	雨なのにかさをささないシランさん。人と違うことをするというだけで、牢屋へ入れられてしまう。自由と正義と連帯について考えさせられる。

12	かべ 鉄のカーテンのむこうに育って		ピーター・シス/作 福本 友美子/訳 BL出版 2022			竹	第二次世界大戦後、冷戦時代のチェコスロバキア。「鉄のカーテン」に閉ざされたきびしい支配のもとで、悩み、成長し、夢を追いかけたピーター・シスの自伝的絵本。	
13	かわいそうなぞう		つちや ゆきお/文 たけべ もといちろう/絵 金の星社		3		戦争中、上野動物園で三頭のゾウが殺されました。これは本当にあった悲しいお話です。	
14	キーウの月		ジャンニ・ロダーリ/詩 ベアトリーチェ・アレマーニャ/絵 内田 洋子/訳 講談社 2022		1		ウクライナ・キーウの月は、私たちが見上げている月と同じ月。 世界的作家ロダーリの詩を、ウクライナ支援のため、絵本にして緊急出版。 収益は、セーブ・ザ・チルドレンに寄付。	
15	きえない ヒョウのつめあと		甲斐 望/文 柿田 ゆかり/絵 学研プラス 2007		1		太平洋戦争中、大阪・天王寺動物園で起こった出来事をもとにした話。処分が決まったヒョウとその飼育係の悲しい別れ、命の大切さと戦争の非情さを感じさせる。	
16	北の里から平和の祈り ノーモア・ヒバクシャ会館物語		こやま 峰子/文 藤本 四郎/絵 北海道新聞社 2020		1	1	被爆者にとって北海道はつながりのある場所。札幌JR平和通駅そばにあるノーモア・被爆者会館、そのつながりや原爆について考えるきっかけとなる。	
17	きぼう こころひらくとき		ローレン・トンプソン/作 千葉茂樹/訳 ほるぷ出版			野	希望、それは、世界に向けて開かれた心。あなたを抱く腕の温もり。おやすみなさいの優しいキス…。希望はいつも、すぐそばにある。日常のささやかなことにも、あなたの心のなかにもー。 アメリカ同時多発テロを経験した作者が描く希望の数々を、世界中の美しい写真と共に贈る、心に響く写真絵本。	
18	木を植えた男		ジャン・ジオノ/原作 フレデリック・バック/絵 寺岡 襄/訳 あすなろ書房 1989		1		第一次世界大戦、第二次世界大戦の狭間で、木を植えた男。 廃墟の村が戦争の後、どのような未来を描くのか。木を植えたことで、何が変わったのか。生活の中にある平和について考える。	
19	キンコンカン せんそう		ジャンニ・ロダーリ/作 ペフ/絵 ジュヌヴィエーヴ・フェリエ/彩色 アーサー・ピナード/訳 講談社 2010		1		戦争を推し進める将軍たちは、町中の鉄を兵器にし、ついには教会の鐘まで兵器にしてしまう。話を楽しみながら戦争について知ることができる。	
20	日・中・韓平和絵本 くつがいく		和歌山 静子/作 童心社 2013		1	1	日本の兵隊たちはアジアの国々で何をしていたのか。幼いころ戦争を体験した作者が、あらためて戦争とは何かを問いただす。兵隊たちに履かれて、海を渡り戦場に行った靴たちを通して、本当の戦争の姿を描き、平和を守ることの大切さを訴える。	
21	原爆の火		岩崎 京子/作 毛利 まさみち/絵 新日本出版社 2000		1		兵士だった山本さんは、焼け跡にくすぶっていた火を持ち帰り、故郷でその灯を絶やさず燃やし続けた。その火は、現在も「平和の火」として灯され続けている。 ヒロシマや「平和の火」を後世に伝える。	
22	ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸		ベン・シャーン/絵 アーサー・ピナード/構成・文 集英社 2006		1	1	野	いつものように漁をしていただけなのに・・・原水爆実験の被害を受けた漁船。 悲しさや悔しさが伝わる。世界の悲惨な出来事に目を向けることの大切さを考えさせられる。
23	この本をかくして		マーガレット・ワイルド/文 フレヤ・ブラックウッド/絵 アーサー・ピナード/訳 岩崎書店 2017		1		「図書館が爆発した時、本はみんな木っ端みじんになった。」 戦争がすべてを奪っていく中で、大事なものを隠しながらどうやって引き継ぐのか、その知恵と生命力が満ちている。	

24	コルチャック先生 子どもの権利条約の父		トメク・ボガツキ/作 柳田 邦男/訳 講談社 2011			野 ナチス占領下のポーランドで、ユダヤ人孤児たちと運命をともにした医師の、真実の物語。 国連で制定された「子どもの権利条約」の父、ヤヌシュ・コルチャックの生涯をつづった絵本。子どもたちへの深い愛情と信念が伝わってくる。
25	さがしています		アーサー・ピナード/作 岡倉 禎志/写真 童心社 2012	3		野 両方揃ったちょっと小さめの軍手、中のご飯が焦げてしまっている弁当箱、色鮮やかなワンピース、8時15分で止まったままの時計……。次々と登場するカタリベとしての「物」たちが、ヒロシマのことを語り、私たち日本人を見つめている。
26	さばくのきょうりゅう		康 禹鉉/絵 田島 伸二/文 講談社 2003		1	平和な砂漠で起きた人間たちの血みどろの争いのために、1億年の眠りを破られた恐竜の、巨大な涙。
27	桜物語		大西 伝一郎/作 たち ようこ/絵 文溪堂 2000		1	敗戦と教え子たちの死というつらい現実に向き合った先生が、「平和の願いを込めた」新しい桜を作ろうと決心する。25年以上かけて「陽光」という桜が生まれた。
28	サルビルサ		スズキ コージ/作 ほるぷ出版 1991 架空社 1996			竹 想像力で読む絵本。 両軍の衝突はユーモラスでありながら、ほんのつまらないことに端を発し、それが戦争にまで発展してしまうばかりかさ・愚かさを明快に描く。
29	しあわせなときの地図		フラン・ヌニョ/文 ズザンナ・セレイ/絵 宇野和美/訳 ほるぷ出版			野 生まれてからずっと、この町で暮らしてきたソエ。でも戦争のせいで、家族と逃げなければならなくなった。町をでる前の晩、ソエはつくえに地図をひろげて、楽しいことがあった場所にしるしをつけてみた。すると…。戦争の悲しさ、理不尽さ、そして小さな希望が切々と描かれる。
30	字のないはがき		向田 邦子/原作 角田 光代/文 西 加奈子/絵 小学館 2019		1	戦時中の向田さん一家の小さい妹と、いつも怖い音尾さんのエピソードを綴った感動の実話。
31	ジャーニー 国境をこえて		フランチェスカ・サンナ/作 青山 真知子/訳 きじとら出版 2018		1	自分の生まれた国から逃げる。旅が続くうちに、どんどん自分のものが失われる。 世界には、命を懸けた難民の旅がある。
32	地雷ではなく 花をください サニーのおねがい		葉 祥明/絵 柳瀬 房子/文 自由国民社 1996		1	今、地球上に埋められた地雷は1億1千万個、犠牲になる人は毎日70人、地雷で手足を失った子どもたちは一生不自由さ・心の傷を負っていかねばならない。 地雷撤去キャンペーンの絵本。
33	新・戦争のつくりかた		りぼん・ぷろじえくと/文 井上 ヤスミチ/絵 りぼん 山本/原案・監修 マガジンハウス 2014			竹 ネットや新聞で話題！10年前に今を予言していた平和の絵本。あれから、何が起こったのか！？この10年間で起きた事実をまとめた資料を補足した新装版。こどもから大人まですべての人に今よんでほしい絵本。
34	すずらん燈 出版社廃業		神津 良子/文 池田 勝子/切り絵 郷土出版社		1	語り継ぐ戦争絵本シリーズ 2 金属供出
35	世界がもし 100人の村だったら		池田香代子/再話 C.ダグラス・スミス/対訳 マガジンハウス 2001		1	世界を100人に縮めるとまったく違うあなたが見えてくる。インターネットで世界を駆けめぐった現代の民話。世界の現実が5分でわかり、世界の中であなたがどう生きるかが託されたメッセージの本。

36	せかいで いちばんつよい国		デビッド・マッキー/作 なかがわ ちひろ/訳 光村教育図書 2005	5	4	野	「世界中の人々を幸せにするため」に世界中を征服したある大きな国の大統領の話。 強者の歪んだ論理を明るいうーモアで皮肉たっぷりに描いた寓話絵本。
37	戦火のなかの 子どもたち		岩崎 ちひろ/作 岩崎書店 1978	1			いわさきちひろの最後の絵本。 ベトナム戦争反対を描いた作品だが、現代も戦争の渦中にある子どもたちは世界中に多くいる。その子どもたちに目を向けよう。
38	せんそう 昭和20年3月10日 東京大空襲のこと 品切れ		塚本 千恵子/文 塚本 やすし/絵 東京書籍 2014			竹	東京大空襲一ひと晩で10万人が亡くなった史上最大の空襲の夜、奇跡的に生きのびた6歳の「わたし」の記録。戦争のほんとうの姿がここに。
39	戦争が 町にやってくる		ロマナ・ロマニーシン/作 アンドリー・レシヴ/作 金原 瑞人/訳 ブロンズ新社 2022		1	竹	美しい町・ロンドで、人びとは花をそだて、風変わりな家をたて、鳥や草木にはなしかけながら、たのしく暮らしていました。ところがある日とつぜん、「戦争」がやってきたのです。ウクライナの作家が子どもたちに向けて描いた平和と戦争の絵本。愛する町、日常、大切なものが壊されると、あなたはどのようにする？
40	せんそうが やってきた日		ニコラ・デイビス/作 レベッカ・コップ/絵 長友 恵子/訳 鈴木出版 2020	1		竹	戦争による難民になるってこういうことなのかと気づかされる。 戦争について改めて考えることができる。
41	戦争をやめた人たち 1914年のクリスマス休戦		鈴木 まもる/文・絵 あすなろ書房 2022		1	竹野	銃弾ではなく歌を。大砲ではなくサッカーを。兵士を変えた、一夜のできごと。 これは、戦争がはじまった5か月後の12月24日の夜に、フランスやベルギーにせめこむドイツ軍と、むかえうつイギリス軍との最前線で実際に起こったお話です。
42	そらいろ男爵		ジル・ボム/文 ティエリー・デデュ/絵 中島 さおり/訳 主婦の友社 2015		1		そらいろの飛行機でだれにもじゃまされずに鳥をながめていたそらいろ男爵。けれども、地上で、戦争がはじまって・・・
43	せんそうしない		谷川 俊太郎/作 江頭 路子/絵 講談社 2015	2	2	野	繰り返される「せんそうしない」という詩。シンプルだからこそ、力強く心に響く。 穏やかで幸せな日常から、一転、破壊されて荒涼とした街の残骸と、黒い空。 戦争を体験していない子どもでも、戦争の本質を知ることができる。
44	タケノコごはん		大島 渚/文 伊藤 秀男/絵 ポプラ社 2015		2		出征前に押し掛けた先生の家で出されたタケノコごはんを、ものも言わずに食べ、「先生、戦争なんか行くなよっ！」と泣きながら叫ぶ同級生のさかい君の表情と、それを聞いた先生の圧巻の表情に心打たれる。
45	ちいちゃんの かげおくり		あまん きみこ/作 上野 紀子/絵 あかね書房 1982		3		夏のはじめのある朝、小さな女の子のいのちが、空にきえました。--悲惨な戦争の中に幼い命をとじた女の子の姿を、静かに描く。
46	紙芝居 ちっちゃいこえ		アーサー・ビナード/脚本 丸木俊・丸木位里/絵 「原爆の図」より 童心社 2019			野	生きものたちは色んな声を出している。・・・どんな生き物でも体の中にはちっちゃい声を抱えていて、ひたすら命をつくりつづける。ヒロシマの生き物たちには何が降りかかったのか？私たちはどうすれば生きていけるのか？
47	チロヌップの きつね		高橋 宏幸/文・絵 金の星社 1972	1	1		動物たちの視点から、戦争と平和、命の尊さについて考えることができる。

48	おきなわ・メッセージ つるちゃん		金城 明美/文・絵 絵本『つるちゃん』を出版する会 高文研 1997	1			何も悪くない普通に生活しているだけの人々の生活を変えたものとして、戦争をとらえることができる。戦争がなく平和を願った人がいて、今その時代に自分たちは生きていられることに気がつくことができる。
49	日・中・韓平和絵本 とうきび		クオン・ジョンセン/詩 キム・ファンヨン/絵 大竹 聖美/訳 童心社 2016	1	1	野	「戦争と空腹に苦しみながら死んでいったすべての子どもたちに捧げます。」 家族で育てたとうきびが僕の背丈ほどになったある日、戦火が村を襲い、見知らぬ土地へ逃れる。
50	日・中・韓平和絵本 父さんたちが 生きた日々		岑 龍/作 中 由美子/絵 童心社 2016	1	1		作者の父である中国人留学生と日本の学友との物語。日中戦争によって友と引き裂かれた人々の無念さから、戦争の悲しさや今なお残る国同士の問題について考えさせられる。
51	ドームがたり		アーサー・ビナード/作 スズキ コージ/画 玉川大学出版部 2017			野	「どうも、はじめまして。 ぼくの名前は「ドーム」。 あいにくなくて、ありがとう—— 1915年にできた「広島物産陳列館」は、100年以上も広島を、世界を見てきた。ドームとは何なのか、何を語りかけているのか。原爆ドームの声を聴け！」
52	あしたのための本(2) 独裁政治とは？		プランテルグループ/文 ミケル・カサル/絵 宇野 和美/訳 あかね書房 2019			竹	独裁とは、誰かひとりがなにもかもをきめてしまうこと。人びとが自由でいられない独裁社会とはいったいどんな世界なのか、独裁者とはどんな人物のことなのか、独裁の世はどうやって終わるのか。巻末には、社会学者・佐藤卓己氏によるオリジナルコラムを掲載。
53	なきむしせいとく 沖縄戦にまきこまれた少年の物語		たじま ゆきひこ/作 童心社 2022			竹	平和を願い、沖縄を見つめ続けてきた田島征彦が描く沖縄戦—ここは1945年の沖縄。ぼくの名前はせいとくです。ぼくは、母と妹の3人で、南へ逃げることにになりました。
54	なぜあらしうの？		ニコライ・ポポフ/作 BL出版 2000	2			文字はなく、絵のみで物語が進んでいく。小さな争いが大きな戦争につながっていく様子が描かれている。どうして争いがおこるのか、なくならないのかを考えさせられる。
55	なぜ戦争は よくないか		アリス・ウォーカー/文 ステファノ・ヴィタール/絵 長田 弘/訳 偕成社 2008	4	2	野	戦争がどのようなことをもたらすのかを描き、戦争をする愚かさを訴えた作品。 痛ましすぎずにやや抽象的に描かれているが、戦争について深く考えることができる。
56	ニコラス どこに いったの？		レオ・レオニ/作 谷川 俊太郎/訳 あすなろ書房 2009	1			野鼠のニコラスと自分たちの敵だと思っていた鳥たちが会おう話。 独断や偏見で相手を全面的に拒否・否定してしまうことは、誰しもあるが、実際に向き合い、相手をよく知ってみると、見方が変わる。
57	ニッキーとヴィエラ ホロコーストの静かな英雄と救われた少女		ピーター・シス/作 福本 友美子/訳 BL出版 2022			竹	ヴィエラは、チェコスロバキアにすむユダヤ人の女の子です。両親といっしょに幸せにくらしていましたが、ホロコーストの危機からイギリスへと助けられました。自分がしたことをだれにもいわなかった静かな英雄ニッキーと自分がだれに助けられたのか知らなかったヴィエラ。2つの物語が、同時にはじまります—。
58	二番目の悪者		林 木林/作 庄野 ナホコ/絵 小さい書房 2014			竹	金色のたてがみを持つ金ライオンは、一国の王になった。自分こそが王にふさわしいと思っていた。 ところが、・・・ 「これが全て作り話だと言い切れるだろうか」 考えない、行動しない、という罪。
59	8月6日のこと		中川 ひろたか/文 長谷川 義史/絵 ハモニカブックス 2011 河出書房新社:取り扱い	1			小学生にもわかるように、わかりやすい言葉で戦争のことが書かれている。 戦争を2度と繰り返さぬように、この本を読んでおこつ。

60	東アジア平和えほん(日・中・韓平和絵本) 花ばあば		クオン・ユンドク/絵・文 桑畑 優香/訳 ころから 2018	1	1	野	国境を越えて痛みを分かち合うために一日本軍「慰安婦」にされた花ばあばの物語。 彼女たちの壮絶な記憶を「過去」へとおきざりにしないため、「未来」で繰り返さないために、この本は生まれた。構想から12年を経て、日・中・韓での共同刊行、実現。
61	はらっぱ 戦争・大空襲・戦後…いま		西村 繁男/画 神戸 光男/構成・文 童心社 1997	1			ある町の原っぱを通して、60年の移り変わりを描く。 町に少しずつ戦争が浸透していき、空襲で一気に焼ける。そこから徐々に現代の生活へと近づいていく。絵に注目しながら読み進める本。
62	ヒナゲシの野原で 戦火をくぐりぬけた ある家族の物語		マイケル・モーパーゴ/作 マイケル・フォアマン/絵 佐藤 見果夢/訳 評論社 2021		1		フランダースの野に、ヒナゲシの花がゆれる。 何列も何列も並ぶ十字架の間に… 戦争と人々の関わりを描く、心を打つ物語。
63	ヒョウのハチ		門田 隆将/文 松成 真理子/絵 小学館 2018	1			中国の牛頭山へヒョウ退治に出かけた日本兵、成岡正久小隊長が見つけた赤ちゃんヒョウと戦争の悲劇と理不尽さを描く。
64	ヒロシマ 消えたかぞく		指田 和/著 鈴木 六郎/写真 ポプラ社 2019	1		竹	ごく普通の家族写真を集めたアルバムのような構成。 その平和な家族が被爆したという事実を考えさせられる。
65	ヒロシマの いのちの水		指田 和/文 野村 たかあき/絵 文研出版 2009	1			今も昔も「水」は「水」だが、その水が時代をつなぐと感ぜられる。 戦争前、戦争中、そして原爆の後、今… 「水」の捉え方が違っている。
66	絵で読む 広島原爆		那須 正幹/文 西村 繁男/絵 福音館書店 1995	1	1		戦争の前後の日常や原爆の歴史的・科学的事実が書かれている。戦争はなぜ起こったのか、核兵器によって何が変わったのか、詳しく書かれている。
67	ひろしまのピカ		丸木 俊/絵・文 小峰書店 1980	8	2		一瞬にして広島を変えてしまった原爆の恐ろしさを描いた作品。 原爆をまだ知らない子どもたちが、今もなお人々を苦しめる原爆の悲惨さを学ぶことができる一冊。 戦争への怒り、鎮魂、平和への願いを込めて。
68	へいしのなみだ ラーゲレーヴ《キリスト伝説集》より		さとう ひでかず/文 さとう しなこ/文 つかさ おさむ/絵 こぐま社 1967	1			温かく清らかな気持ちで、殺戮という負の感情を癒し、新しい勇気と力を与えてくれる。 「正のイメージ」は暖色で、「負のイメージ」は寒色で描かれている。
69	へいわって すてきだね		安里 有生/詩 長谷川 義史/画 ブロンズ新社 2014	6	6	野	「これからはずっと平和が続くように、ほくも、ほくのできることを頑張るよ。」 沖縄に住む小学校1年生の男の子が書いた詩。他人事ではなく、自分事として平和について考えるきっかけをくれる本。
70	日・中・韓平和絵本 へいわって どんなこと?		浜田 桂子/作 童心社 2011	2	1	野	平和とはどんなことなのか。ぐっすり眠れること、いやだと言えること……。幸せの本質を教えてください。
71	へいわとせんそう		谷川 俊太郎/文 Noritake/絵 ブロンズ新社 2019	8	8	野	比べてみると見えてくる。同じ人やモノや場所を、見開きごとに比べると、平和と戦争の違いが見えてくる。シンプルな絵だからこそ、印象に残る。

72	<p>平和をかんがえる こども俳句の写真絵本</p> <p>品切れ</p>		<p>小学館 2015</p>		1		<p>木村伊兵衛、土門拳ら8名の写真家がとらえた戦時下のこどもの写真約30点を掲載。現役の小・中・高校生が詠んだ俳句約40句とあわせて鑑賞することで、戦争の恐ろしさと平和の尊さが浮き彫りになる画期的な一冊。</p>
73	<p>ぼくがラーメン たべてるとき</p>		<p>長谷川 義史/作・絵 教育画劇 2007</p>		7	4 野	<p>自分が幸せな時、同じ空の下には苦しんでいる子どもたちがいる。直接「平和」や「戦争」というワードは出てこないが、大人も子どもも考えさせられる絵本。</p>
74	<p>日・中・韓平和絵本 ぼくのかえが きこえますか</p>		<p>田島 征三/作 童心社 2012</p>		1	1 野	<p>苦しみ、悲しみ、憤りがひしひしと伝わってくる。身近な感情に焦点を当てた描き方によって、戦争は遠い昔のものではなく、すぐそこにあるものだと感じさせられる。</p>
75	<p>ぼくは弟とあるいた</p>		<p>小林 豊/作・絵 岩崎書店 2002</p>		1		<p>戦争から逃れる道中で、いろいろな困難に遭遇しながらも弟と歩いて避難する。人々の怒りや喜びがはっきりと描かれている。</p>
76	<p>まちんと</p>		<p>松谷 みよ子/文 司 修/絵 偕成社 1983</p>		3	野	<p>広島に原爆が落とされた後の話。「まちんと」は、幼い子が「もうちょっと」「まちょっと」という方言を、回らない下で言った言葉。淡々と静かに語られる文章と、心に響く絵によって、戦争の恐ろしさと命の尊さを教えてくれる。</p>
77	<p>絵本 まっ黒なおべんとう</p>		<p>児玉 辰春/文 長沢 靖/絵 新日本出版社 1995</p>		5	2	<p>戦争によって突然失ってしまう日常を如実に表している絵本。 お弁当を抱えて元気に出かけていった姿と、骨になって見つかった姿の対比は、子どもだけでなく大人の心も打つ。</p>
78	<p>もっとおおきな たいほうを</p>		<p>二見 正直/作 福音館書店 2009</p>			1	<p>王様は大砲をうって狐を追い払うが、狐はもっと大きな大砲をもってくる。王様と狐の大砲くらべはエスカレートして…。</p>
79	<p>焼けあとのちかい</p>		<p>半藤 一利/文 塚本 やすし/絵 大月書店 2019</p>		2	1	<p>遊ぶのが大好き、わんぱくな半藤少年は、中学2年生の時、東京大空襲に見舞われ生き延びた。特徴的な絵とメッセージが心に刺さる。</p>
80	<p>ランドセルは 海を越えて</p>		<p>内堀 タケシ/写真・文 ポプラ社 2013</p>			1	<p>内戦で学校の運営がままならないアフガニスタンへ、使い終わったランドセルを届ける運動がある。未来へつながる「希望」の象徴。</p>
81	<p>なぜ戦争をするのか？ 六人の男たち</p>		<p>デイビッド・マッキー/作 中村 浩三/訳 偕成社 1975</p>			竹	<p>平和に暮らすことを求める6にんの男から始まりまず。初めは平和に暮らしたかっただけ。そのはずが、一度かねもちになると自分の 財産の 心配をはじめだし・・・という戦争がどのようにして起こり最後はどうなっていったのかを描いた本です。平和を望みながらも、富をもとめて戦争への道を歩んでしまう人間の姿が、ユーモアとパースをこめて描かれています。</p>
82	<p>6羽のからす</p>		<p>レオ・レオニ/作 谷川 俊太郎/訳 あすなろ書房 2009</p>		1		<p>麦をめぐって6羽のカラスと農夫が知恵比べをしているうちに、肝心の麦がしおれてしまう。解決策が「話し合い」。「言葉の魔法」があれば、長い争いもぎっと平和に向かっていける。</p>
83	<p>わすれたって、 いいんだよ</p>		<p>上條 さなえ/文 たるい しまこ/絵 光村教育図書 2015</p>		1		<p>戦争の辛い記憶は一生心に残ってしまう悲しさ、戦争の恐ろしさを、次の世代へと伝えていくことの大切さを学ぶことができる。</p>

84	わすれないよ いつまでも 日系アメリカ人少女の物語		ヨシコ・ウチダ/文 ジョアナ・ヤードリー/絵 浜崎 絵梨/訳 晶文社 2013	1		第2次世界大戦下で、アメリカに住んでいた日本人や日系人を描いた1冊。 戦争の裏で密かに悲しく辛い思いをした人々がいる。	
85	わたしのいもうと		松谷 みよ子/文 味戸 ケイコ/絵 偕成社 1987	1		「そうした差別こそが戦争へとつながるのではないのでしょうか。」 戦争を舞台にしているわけではないが、戦争を過去のこととせず、自分の日常からつながっていくことかもしれないという自覚が生まれる。	
86	わたしのせいじゃない せきにんについて		レイフ・クリスチャンセン/文 ディック・ステンベリ/絵 にもんじ まさあき/訳 岩崎書店 1996		野	一人の男の子が泣いている——始まりは知らない、みんながやったんだもの…言い訳が続く。 無関心は無責任のはじまり。傍観することは、加担することと同じ。反対しないことは、賛成することと同じ。 シリーズ「あなたへ」6	
87	戦争と平和を見つめる絵本 わたしの「やめて」		自由と平和のための 京大有志の会/文 塚本 やすし/絵 朝日新聞出版 2015	2	3	竹	「戦争とは何か？」をシンプルにわかりやすい言葉で伝えてくれる絵本。その言葉とともに、太い筆で描かれた力強い絵が、読む人の心に訴えかけてくる。

数字は、おすすめの人数を示す。

※1 北海道教育大学札幌校2021年度後期「学習指導と学校図書館」受講生37人/編

※2 國學院大學北海道短期大学部2022年度前期「児童サービス論」受講生25人/編

竹 「学校図書館」2022.8 NO.862「平和を子どもたちと考える」竹迫祐子より

野 編者(野村邦重)すいせん

Web検索 1)ブックリスト 戦争と平和
2)戦争と平和 絵本

参考資料 1)「子どもと読書」 親子読書地域文庫全国連絡会

2020/11・12 子どもたちにすすめたい平和の本
2019/5・6 子どもたちと憲法
2018/7・8 平和を守るために
2018/5・6 子どもたちと憲法
2017/7・8 平和が脅かされている

<https://www.oyatiren.info/>

2)「子どもの本棚」 日本子どもの本研究会

3)『クレヨンハウス 絵本スクール』 2008.11.15 クレヨンハウス 平和の絵本:P89~103

4)『砂漠でみつけた一冊の絵本』 2004.10.6 岩波書店 柳田邦男/著

5)『13歳からの絵本ガイド YAのための100冊』 2018.4.18 西村書店 金原瑞人・ひこ田中/監修

<https://www.iaschonken.com>

※参考資料には、上記のブックリスト以外に、おすすめの絵本が掲載されているので、是非一読してほしい。